

バラハウス巡回 栽培技術を共有

三重・JA伊勢

【三重・伊勢】JA伊勢バラ部会は8月下旬、バラのハウス巡回を行った。部会員8人が参加した。ハウスを巡って生産者同士で意見を交換し、栽培技術を共有することで、品質の向上を図ることが目的だ。

この日は、JAと県中央農業改良普及セン

ハウスを巡回し、意見を交換する生産者ら



ター、市場の担当者も同行した。部会員ら

は、ハウスで生育状況を確かめた。販売会議も開き、栽培品種の構成などで市場の担当者と意見を交わした。同部会の野中穂積部会長(67)は「巡回での意見交換を通じて技術を高め、秋からの需要増に向けて準備を進めた」と話す。

同部会では、秋以降のプライダル需要などに対応するため、市場担当者と連絡を取りながら有利販売に努めていく。